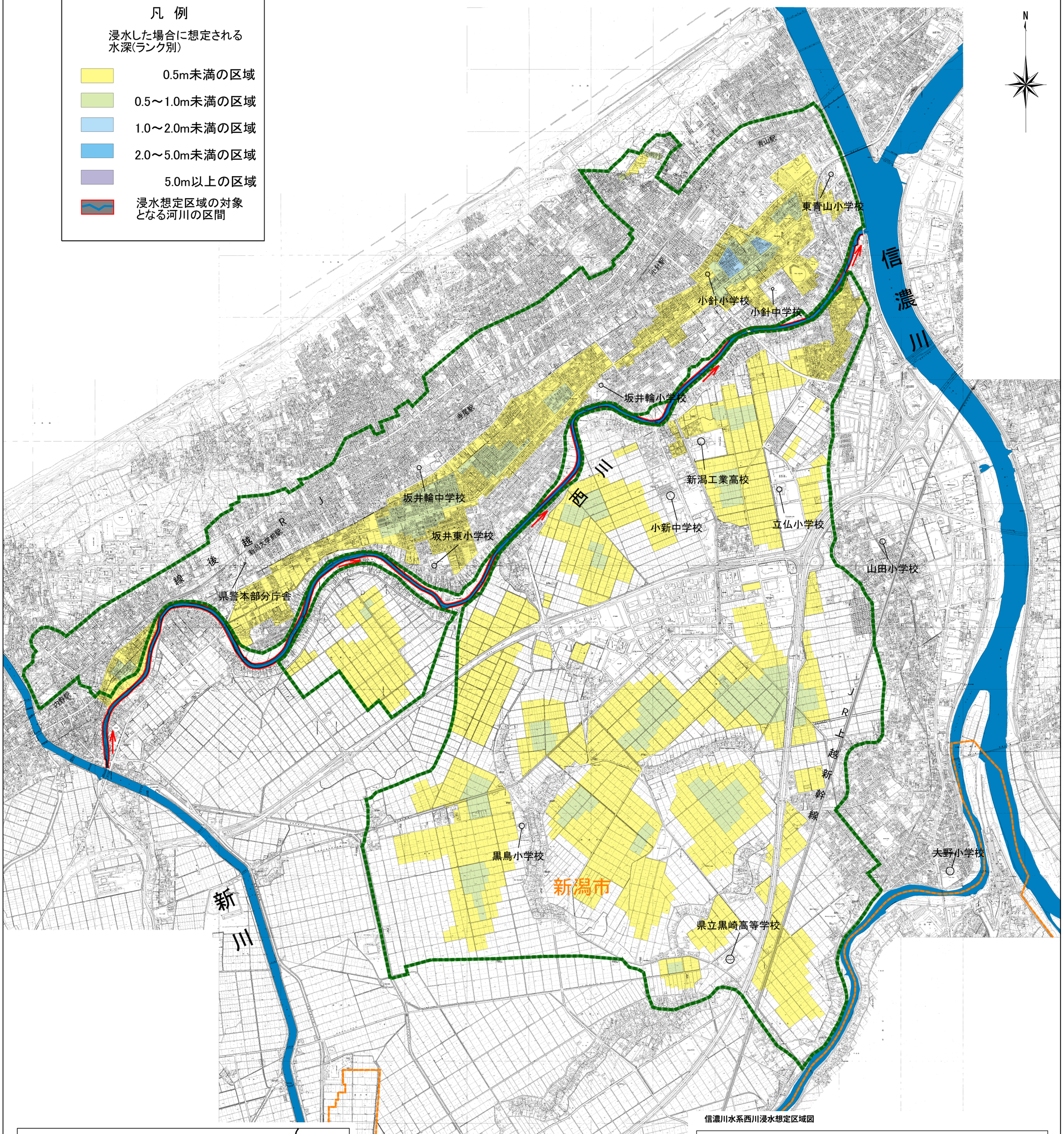
信濃川水系西川浸水想定区域図

凡　例

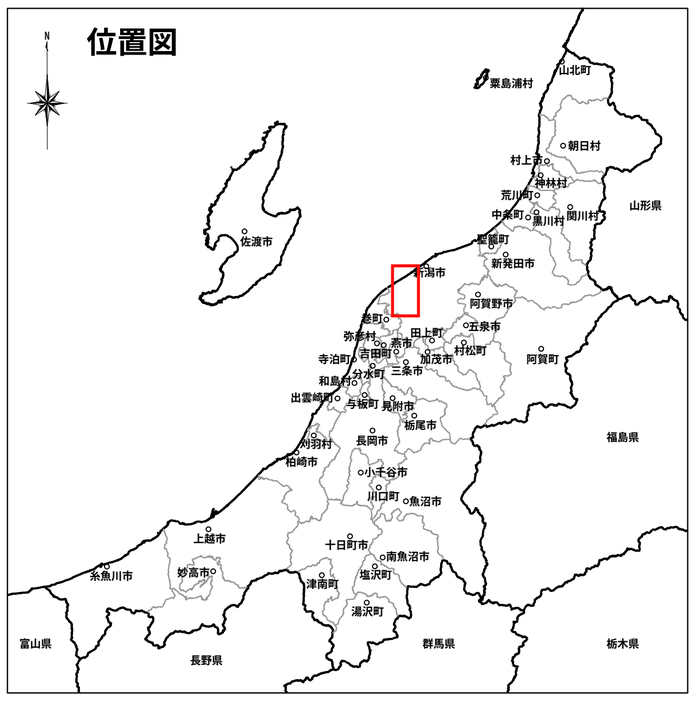
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 浸水想定区域の対象となる河川の区間



信濃川水系西川浸水想定区域図

位置図



1．説明文

（1） この浸水想定区域図は、信濃川水系西川及び内水により浸水した場合に想定される水深を示したものです。

（2） この浸水想定区域は、現在の西川の河道整備状況、流域施設の状況等を勘案して、西川流域の洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね１００年に１回程度起こる大雨が降ったことにより、西川流域内水はん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

（3） このシミュレーションの実施に当たっては、内水による浸水を考慮していますが、想定を超える降雨、高潮によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や指定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（4） なお、当該区域については、隣接する洪水予報指定河川信濃川のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される信濃川浸水想定区域を参照する必要があります。

2．基本事項

（1）作成主体　新潟県

（2）対象となる河川　信濃川水系西川（実施区間：新川交差部から下流）

（3）対象降雨　西川流域の総雨量１９８mm／２４時間（１００年に一度の豪雨に相当）

（4）関係市町村　新潟市

（5）その他計算条件等

① はん濫計算は、対象区域を１００m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。

② 計算メッシュの地盤高は、１／２，５００都市計画図から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

③ 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、はん濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

※「この地図は、新潟市の承認を得て、新潟市発行の２千５百分の１地形図を複製したものである。（承認番号）平１７　新都第２３８号の２

新潟県新潟土木事務所　平成17年６月

500　0　500　1000　1500m